

## 地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	仁木町
------	-----

## 1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（3年計画のうち2年目）

実施主体	市町村名：仁木町 民間団体名：		計	1市町村 団体
プロジェクト名：	「みんなが安心」暮らしサポートプロジェクト		格差の分野：医療・福祉の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	該当 非該当	地域重点プロジェクト名	主な取組	
地域の課題及び 地域再生プロジェクト の目標	<p>地域の課題</p> <p>少子高齢化、国の三位一体改革による地方交付税・補助金等の減少などから、仁木町の財政状況が極めて苦しい状況となり、平成18年度には、町立保育所を民営化。さらに、民間医師の協力で維持していた診療所も医師不足の影響で閉鎖となり、かつて町内に2カ所あった町立診療所はすべて閉鎖となっています。</p> <p>平成19年度には、水道料の値上げや各種補助金の見直し、職員給料の1割減額など、住民の負担を伴う「仁木町行財政構造改革プラン（平成20年～平成23年）」を策定し、現在、地域一体で行財政改革を推進していますが、緊縮行政の中でも、地域が元気を取り戻すための事業については実施したいと考えています。</p> <p>プロジェクトの目標</p> <p>医師不足や産婦人科医や助産師もいない医療過疎の是正や、少子・高齢化による限界集落化に歯止めをかけるためにも、予防医療に着目した医療・保健・福祉連携による各種事業を展開することで、自らの命は自らが守るという意識高揚と、子育て世代から後期高齢者まで地域の中でいきいきと生活できる環境を整備し地域力の再生を図ることで、誰もが安心・安全にいきいきと暮らせる町を目指します。</p>			
取組の成果	<p>住民等の評価</p> <p>参加者からは、分かりやすい、これなら簡単と高い評価が得られた。</p> <p>計画に対する達成度</p> <p>「みんなが安心」暮らしサポートプロジェクトとし、4事業を計画し、全て計画どおり実施できた。</p> <p>1．健康寿命延長・自主防災組織育成プロジェクト 生活習慣病予防教室や救急救命教室を行うなど、計画どおり実施できた。</p> <p>2．歯科保健対策事業 乳幼児歯科検診など、計画どおり実施できた。</p> <p>3．安心出産サポート事業 妊婦健診の公費負担を14回にするなど、計画どおりに実施できた。</p> <p>4．高齢者憩いの場提供事業 高齢者福祉施設を利用した健康増進教室の開催など、計画どおり実行できた。</p>			

	<p>具体的な効果</p> <p>健康寿命延長・自主防災組織育成プロジェクトでは、農閑期に合わせ町内を4地区（仁木、然別、大江、銀山）に分け広く周知し参加を呼びかけた。その結果、老人クラブ加入者を中心に多くの住民の参加が得られた。口腔ケアの重要性及び口腔機能の向上、運動器の仕組みや役割を理解するとともに的確な運動方法と運動習慣を学んだ。普通救命講習では、本事業でAEDを設置した各学校の父母・教員や生徒を中心にAEDを使った救命講習を開催し169名の参加があった。今後も、定期的実施することで、誰でもいつでも救命活動に対応できる体制を確立したい。</p> <p>歯科保健対策事業では、幼児の虫歯対策として、歯科健診、口腔教室を通じ母親におやつと虫歯の関係、虫歯予防の必要性について知識が得られた。</p>	<p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</p> <p>・健康寿命延長メニュー受講者数 H19年0人 H20年192人 H21年439人</p>
<p>プロジェクト推進上の課題・問題点</p>	<p>課題点等</p> <p>健康寿命延長事業では、老人クラブを中心に事業を展開したが、同クラブに加入していない方々に対してどう参加を促すかが大きな課題である。歯科保健対策についても、母親の都合で参加できなかった母子に対してどうフォローするかが課題となる。また、今後更に日常における小児歯科、虫歯予防に対する意識の高揚を図りたい。</p> <p>課題を踏まえた今後の展開</p> <p>ホームページ、広報、チラシ及び各種会合など、あらゆる機会を利用し教室の紹介と参加奨励を行い、生活習慣病予防・歯科保健対策を推進する。</p>	

## 2 地域再生プロジェクト構成事業

### (1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	健康寿命延長・自主 防災組織育成プロジ ェクト	20 ┆ 22	全体計画	5,716					5,716			5,012
			初年度(H20)	2,119					2,119			1,904
			2年度目(H21)	2,357					2,357			1,904
			3年度目(H22)	<b>1,240</b>					<b>1,240</b>			<b>1,204</b>
2	歯科保健対策事業	20 ┆ 22	全体計画	288					288			288
			初年度(H20)	96					96			96
			2年度目(H21)	96					96			96
			3年度目(H22)	<b>96</b>					<b>96</b>			<b>96</b>
3	安心出産サポート事 業	20 ┆ 22	全体計画	4,062					4,062			
			初年度(H20)	850					850			
			2年度目(H21)	1,606					1,606			
			3年度目(H22)	<b>1,606</b>					<b>1,606</b>			
4	高齢者憩いの場低居 事業	20 ┆ 22	全体計画	18,295					18,295			
			初年度(H20)	6,507					6,507			
			2年度目(H21)	5,894					5,894			
			3年度目(H22)	<b>5,894</b>					<b>5,894</b>			
計	事業数[ ]		全体計画	28,361					28,361			5,300
			初年度( )	9,572					9,572			2,000
			2年度目( )	9,953					9,953			2,000
			3年度目( )	<b>8,836</b>					<b>8,836</b>			<b>1,300</b>

- 注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。  
 2 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。  
 3 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	健康寿命延長・自主防災組織育成プロジェクト	健康運動指導士による運動メニューの指導、歯科衛生士による口腔ケア教室	初年度(H20)	生活習慣病予防教室6回、口腔ケア教室3回、普通救命教室10回	生活機能の保持増進を図り要介護状態に陥ることの無いよう正しい知識と予防方法が理解できた。不参加者への対応が課題。認知度が低かったAEDを身近な施設に設置したことで、講習会への参加者も増加した。繰り返し講習会を実施するなど普及PRが必要。	あらゆる機会を通して教室や講習会のPRに努め、参加を呼びかける。相互に指導しあえる環境づくりを構築する。
			2年度目(H21)	生活習慣病予防教室14回、口腔ケア教室6回、普通救命教室9回	生活機能の保持増進を図り要介護状態に陥ることの無いよう正しい知識と予防方法が理解できた。不参加者への対応が課題。認知度が低かったAEDを身近な施設に設置したことで、講習会への参加者も増加した。繰り返し講習会を実施するなど普及PRが必要。	あらゆる機会を通して教室や講習会のPRに努め、参加を呼びかける。相互に指導しあえる環境づくりを構築する。
			3年度目(H22)			
2	歯科保健対策事業	0歳から4歳児の虫歯保有率を下げるための予防治療、歯科衛生士による口腔ケア教室	初年度(H20)	乳幼児歯科健診6回、口腔ケア教室4回	乳幼児の虫歯保有率を下げ健康の保持増進に寄与できた。不参加者へのフォローが課題	あらゆる機会を通して教室のPRに努め、参加を呼びかける。仕事をもつ母親へのフォロー体制として、保育所とも連携し指導を充実する。
			2年度目(H21)	乳幼児歯科健診6回、口腔ケア教室3回	乳幼児の虫歯保有率を下げ健康の保持増進に寄与できた。不参加者へのフォローが課題	あらゆる機会を通して教室のPRに努め、参加を呼びかける。仕事をもつ母親へのフォロー体制として、保育所とも連携し指導を充実する。
			3年度目(H22)			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
3	安心出産サポート事業	母親並びに乳幼児の健康の保持及び増進を目的とする	初年度(H20)	これまで2回だった妊婦健診を5回までとしたほか、35歳以上に限られていた超音波健診の公費負担を妊婦全員に拡大した。栄養士・保健師の連携により妊娠期から母親の心と体の両面から支援する体制を整えることができた。	流産や異常分娩、死産等のない安定した妊娠・出産期が迎えられたほか、母子ともに健康で安定した生活が保たれるように、心と体の両面から支援することができた。	平成21年度から妊婦健診が14回に拡充され、母胎や胎児の健康確保が図られることとなった。今後も、妊婦に対する保健指導の充実、健診の重要性を普及していく。
			2年度目(H21)	平成21年度から妊婦健診を14回としたほか、妊婦全員を対象とした超音波健診の公費負担を6回分とした。栄養士・保健師の連携により妊娠期から母親の心と体の両面から支援する体制を整えることができた。	流産や異常分娩、死産等のない安定した妊娠・出産期が迎えられたほか、母子ともに健康で安定した生活が保たれるように、心と体の両面から支援することができた。	平成21年度から引き続き、妊婦健診が14回となり、母胎や胎児の健康確保が図られることとなった。今後も、妊婦に対する保健指導の充実、健診の重要性を普及していく。
			3年度目(H22)			
4	高齢者憩いの場低居事業	高齢者福祉施設を交流拠点として、多目的に活用する	初年度(H20)	仁木町高齢者福祉施設の研修室を活用したサークル活動や健康増進講座なども開催されたほか、入浴施設では、多様な世代が集い世代を超えた交流が図られた。	一人暮らしや、閉じこもりなどで、人との交流が少ない高齢者が参加しやすいように、多様なメニューを企画し、声かけをするなど参加を促す活動を積極的に行う。	参加者が利用しやすい講習会などを企画し、声かけをしながら利用者を増やしていく。
			2年度目(H21)	仁木町高齢者福祉施設の研修室を活用したサークル活動や健康増進講座なども開催されたほか、入浴施設では、多様な世代が集い世代を超えた交流が図られた。	一人暮らしや、閉じこもりなどで、人との交流が少ない高齢者が参加しやすいように、多様なメニューを企画し、声かけをするなど参加を促す活動を積極的に行う。	参加者が利用しやすい講習会などを企画し、声かけをしながら利用者を増やしていく。
			3年度目(H22)			

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。